

問1 日本付近の天気は、一般的に西から東へと移り変わる傾向があります。このように気圧配置や天気が移動する主な原因となっている、上空の風の性質として最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 中緯度地帯の上空を一年中西から東に向かって吹くため、低気圧などを東へ押し流す。
2. 赤道付近の低気圧に向かって、低緯度帯を一年中吹き続けることで、上昇気流を発生させる。
3. 大陸と海洋の温度差によって夏と冬で吹く方向が逆転し、日本の四季の変化をもたらす。
4. 北極付近から南下するように東から西へ吹き、北半球の寒気を南へ運ぶ役割を持つ。

問2 シベリアの寒冷な環境に適応した人々の暮らしや住居、およびその背景について述べた文として正しいものを選択してください。 (2025年 沖縄公立入試 類似)

1. 建物からの熱が永久凍土を溶かして地盤が沈むのを防ぐための住居が見られ、夏にはダーチャと呼ばれる菜園で野菜を育てることもある。
2. 年間を通して極めて気温が低いため、地面の熱を逃がさないように厚い石壁で囲み、窓を極端に小さくした半地下構造の住居が普及している。
3. 夏季の強い日差しによって地表の温度が上がりすぎるのを防ぐため、家の周囲に背の高い樹木を植え、壁を白く塗った石造りの住居に住んでいる。
4. モンスーンの影響による夏季の多雨と、それによる浸水被害を避けるために、柱を地面に深く打ち込んだ高床式の住居で生活している。

問3 南アジアなどで見られる、夏と冬で風向きが反対になる風を何といいますか。特に夏には、湿った空気をインド洋などの海洋側から大陸へと運び、地域に雨季をもたらす要因となる風の名称を答えなさい。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

1. モンスーン (季節風)
2. 偏西風
3. 貿易風
4. 熱帯低気圧

問4 偏西風と呼ばれる風の性質と、それがもたらす影響について正しく説明しているものはどれか。最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 宮崎公立入試 類似)

1. 中緯度地域の上空を一年中西から東に向かって吹く風で、暖流の北大西洋海流と共に西ヨーロッパに温暖な気候をもたらす。
2. 赤道付近から中緯度地域に向かって一年中吹く風で、砂漠地帯の乾燥した空気を運ぶ要因となる。
3. ユーラシア大陸から太平洋に向かって冬に強く吹く風で、日本の日本海側に大雪を降らせる要因となる。
4. 極地方から中緯度地域に向かって東から西へ吹く風で、北欧諸国の冬を厳しく冷え込ませる要因となる。

問5 北欧のノルウェー周辺の海岸線に見られる、のこぎりの歯のように複雑に入り組んだ地形について、その形成過程を説明した文として正しいものはどれか。 (2018年 愛媛公立入試 類似)

1. 氷河による侵食で形成されたU字谷に、海水が入り込んで形成された。
2. 河川による侵食で形成されたV字谷が、土地の沈降によって海水に浸されて形成された。
3. 石灰岩台地が雨水や地下水によって溶食され、複雑な凹凸が形成された。
4. 波の侵食によって海岸の崖が削られ、平坦な地形が隆起して形成された。

問6 北半球に位置するヘルシンキの気温と降水量の特徴について説明した文として、適切なものはどれですか。なお、現地の統計では1月の気温が最も低く、7月の気温が最も高い山型の曲線を示し、降水量は各月50mmから80mm程度で安定しています。 (2015年 佐賀公立入試 類似)

1. 高緯度に位置するため夏季と冬季の気温の年較差が大きく、降水量は年間を通じて比較的平均している。
2. 赤道に近い低緯度に位置するため一年中気温が高く、夏季に極端に降水量が多くなる。
3. 南半球に位置するため日本とは季節が逆になり、7月頃に気温が最も低くなる。
4. 中緯度の偏西風の影響を強く受けるため、冬季でも氷点下になることはなく、夏は乾燥する。

問7 北極圏付近の寒冷な地域における自然環境と人々の生活について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)

1. 地中の凍土が溶けて建物が沈み込まないよう、高床の住居が作られている。
2. 一年中雨が少なく乾燥しているため、水分を逃がさないよう窓が小さく壁の厚いレンガ造りの住居が一般的である。
3. 地中海性気候に属し、夏季の強い日差しを避けるために壁を白く塗った石造りの住居が多く見られる。
4. 強風や寒さを防ぐために、移動式の住居であるテントを用い、一年中家畜と共に移動する生活を送っている。

問8 熱帯の島々で見られる伝統的な住居は、木の支柱とやしの葉などを用いて作られ、床を高くし、壁をほとんど設けない構造になっています。このような住居の仕組みとなっている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 青森公立入試 類似)

1. 年間を通じて気温と湿度が高いため、風を通しやすくして、熱や湿気がこもるのを防ぐため。
2. 季節による気温の変化が激しいため、外気の影響を直接受けないように通気性を調整するため。
3. 降水量が極めて少なく乾燥しているため、わずかな風を取り込んで室内の乾燥を防ぐため。
4. 冬の寒さが非常に厳しいため、床を高くすることで地面からの冷気が伝わるのを防ぐため。

## 答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**  
中緯度地帯の上空を一年中西から東に向かって吹くため、低気圧などを東へ押し流す。
- 日本の気象において、天気は西から変化するのは上空を流れる偏西風の影響です。偏西風は中緯度帯において一年中西から東へ吹いているため、発生した低気圧や高気圧、雲のまとまりを西から東へと移動させるコンベヤーベルトのような役割を果たしています。これにより、日本近海では西側の天気を観察することで、その後の天気を予測することが可能になっています。
- 問2** **答え 1**  
建物からの熱が永久凍土を溶かして地盤が沈むのを防ぐための住居が見られ、夏にはダーチャと呼ばれる菜園で野菜を育てることもある。
- シベリアなどの寒帯・亜寒帯地域では、建物からの熱が原因で永久凍土が溶け、地盤沈下や建物の傾きが起るのを防ぐために、高床式の住居が建てられています。また、ロシアなどでは「ダーチャ」と呼ばれる郊外の菜園付き別荘を持つ文化があり、冬が長く厳しい分、短い夏の間はそこでジャガイモなどの野菜を栽培し、自給的な生活や休暇を楽しみます。なお、高床式住居は東南アジアなどの熱帯地域でも見られますが、そちらは主に「湿気」や「浸水」対策を目的としたものであり、シベリアの「凍土対策」とは目的が異なります。
- 問3** **答え 1**  
モンスーン（季節風）
- 大陸と海洋は温まりやすさが異なるため、季節によって気圧の配置が変化します。南アジアでは、夏に熱せられた大陸側の気圧が低くなり、湿った空気が海洋から大陸へと流れ込むため、大規模な降水が発生します。この仕組みで吹く風を季節風と呼びます。
- 問4** **答え 1**  
中緯度地域の上空を一年中西から東に向かって吹く風で、暖流の北大西洋海流と共に西ヨーロッパに温暖な気候をもたらす。
- 偏西風は、地球の中緯度地域において一年中西から東（日本を含む緯度帯では天気は西から東へ変わる要因）に向かって吹いています。西ヨーロッパにおいては、北大西洋海流という暖流の上を吹き抜けることで、高緯度であるにもかかわらず、不凍港が維持されたり冬の気温が下がりにくかったりするなどの恩恵をもたらしています。
- 問5** **答え 1**  
氷河による侵食で形成されたU字谷に、海水が入り込んで形成された。
- ノルウェーなどで見られるこの地形はフィヨルドと呼ばれます。過去の氷河期に厚い氷の層が地面を削り取って深いU字型の谷を作り、その後の温暖化による海面上昇や地殻の変動によって、その谷に海水が深く進入したことで成立しました。日本で見られるリアス海岸（V字谷の沈降）とは、侵食の主体が河川か氷河かという点で異なります。
- 問6** **答え 1**  
高緯度に位置するため夏季と冬季の気温の年較差が大きく、降水量は年間を通じて比較的平均している。
- ヘルシンキは北緯60度付近の高緯度にあるため、太陽の光を受ける角度や時間の長さが季節によって大きく異なり、気温の年較差が大きくなります。降水量は、熱帯雨林のようなスコールや季節風による極端な変動はなく、年間を通して比較的安定して推移します。また、7月に気温が最も高くなるのは北半球に位置している証拠です。
- 問7** **答え 1**  
地中の凍土が溶けて建物が沈み込まないよう、高床の住居が作られている。
- スカンディナ비아半島北部やシベリアといった高緯度の寒冷地では、地中の水分が凍結した凍土層が広がっています。この地域では、建物の暖房による熱で凍土が溶け、地盤沈下が起るのを防ぐために「高床」の住居が建てられます。乾燥帯で見られるレンガ造りの住居や、温帯（地中海性気候）の白い壁の家、あるいは乾燥帯や寒冷地の一部で行われる遊牧のテント生活など、他の気候帯の住居の特徴と混同しないことが重要です。
- 問8** **答え 1**  
年間を通じて気温と湿度が高いため、風を通しやすくして、熱や湿気がこもるのを防ぐため。
- 住居の構造は、その地域の気候条件と密接に関係しています。熱帯地域では、激しい雨（スコール）や高い気温、高い湿度への対策が不可欠です。壁をなくして通気性を高めることで体感温度を下げ、高床式にすることで地面からの湿気や害虫の浸入を防ぐ工夫がなされています。これに対し、壁を厚くしたり窓を小さくしたりする工夫は、砂漠などの乾燥帯や、寒さの厳しい冷帯・寒帯の住居に見られる特徴です。

問1 アフリカの赤道直下にある国々の中には、標高が高い土地の気候特性を活かした生活を送っている地域があります。これらの地域における気温と農業の特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 和歌山公立入試 類似)

1. 一年中高温多湿であり、天然ゴムやカカオの栽培が盛んである。
2. 標高が高いため年間を通じて気温が低く、作物が育ちにくい。
3. 季節による気温の変化が激しく、夏には米の三期作が行われる。
4. 降水量が極めて少なく、乾燥に強いナツメヤシの栽培が行われる。

問2 日本列島付近の天気は、一般的に西から東へと移り変わる傾向があります。この理由として、日本が位置する中緯度帯の上空において、雲や気圧配置を西から東へ運ぶ役割を果たしている仕組みを何というか。 (2026年 静岡公立入試 類似)

1. モンスーン (季節風) の周期的な変化
2. 赤道付近から吹く貿易風による影響
3. 中緯度帯の上空を一年中吹く偏西風
4. 大陸から吹き出すシベリア高気圧の風

問3 北ヨーロッパのスカンディナビア半島北部など、北極圏に近い寒冷地で見られる住居の工夫について、建物の底を地面から離れた「高床」の構造にする目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)

1. 室内の暖房の熱が地中の凍土に伝わり、土台がゆるんで建物が傾くのを防ぐため
2. 夏季の高温多湿な気候において、床下の通風を良くして建物内に湿気がこもるのを防ぐため
3. 大雨による河川の氾濫や、雪解け水による浸水被害から生活空間を守るため
4. 地面からの地熱を効率よく室内に取り込み、冬の厳しい寒さを和らげるため

問4 イスラム教を信仰する人々が、サウジアラビアにある聖地メッカの方向を向いて礼拝を行うという文化的な慣習に関連して、各国のホテルや空港などの施設内で実際に行われている配慮として最も適切なものはどれですか。 (2024年 山梨公立入試 類似)

1. 客室の天井や床に、聖地のある方角を示すマークや矢印を表示する。
2. エルサレムの位置を特定するために、すべての部屋に方位磁針を埋め込む。
3. パチカンの方向に顔を向けられるよう、全座席を西向きに固定する。
4. どの国にいても常に北を向いて祈るように、地図の北側に聖地を配置する。

問5 ヨーロッパ北西部に位置するロンドンなどの都市は、北緯50度を超える高緯度にありながら、冬の寒さがそれほど厳しくないという特徴があります。この気候の特色をもたらしている主な要因について、暖流である北大西洋海流と、その上空を一年中吹いている風の影響を説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)

1. 偏西風の影響により、暖流の上の湿った暖かい空気が大陸へ運ばれてくるため
2. 季節風の影響により、夏に海洋から湿った暖かい空気が吹き込むため
3. 貿易風の影響により、赤道付近の暖かい空気が常に供給されるため
4. 北極から吹く寒気を、高い山脈が遮断することで気温が維持されるため

問6 低緯度地域に位置しながらも、年間を通じて気温が低く過ごしやすい「高地気候」について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 長崎公立入試 類似)

1. 標高が高くなると空気が薄くなり、地表からの熱が伝わりにくくなるため、緯度が低くても気温が下がる。
2. 赤道に近い地域では、標高に問わず太陽からの熱を直接受けるため、常に熱帯の気候となる。
3. 高地では季節による昼夜の長さの変化が非常に大きいため、夏でも気温が上がりにくい。
4. 高地は海から遠い内陸部に位置することが多いため、寒流の影響を強く受けて気温が下がる。

問7 アフリカ北部からアラビア半島にかけて広がる地域において、羊や「らくだ」が伝統的な生活の中で重要な食料源として重宝されてきた理由として、環境面から説明したものととして適切なものを選びなさい。 (2024年 山口公立入試 類似)

1. わずかな草や水でも生きられる耐性があり、水資源の乏しい過酷な環境下でも肉や乳を供給できるから。
2. 広大な森林地帯での移動に適しており、野生の木の実や果実を効率よく採取するための動力となるから。
3. これらの家畜は大規模な灌漑設備を用いた企業的牧畜において、最も輸出効率が良い品種であるから。
4. 冷帯のような寒冷な気候において、体温を維持するために必要な厚い脂肪分を最も蓄えやすいから。

問8 アラビア半島や中央アジアなどの乾燥地域における住居の特徴として、伝統的に「土」や「石」を用いた厚い壁の家が多く見られます。このような住居の造りになっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 山口公立入試 類似)

1. 強い日差しによる熱が室内に伝わるのを防ぎ、昼夜の激しい気温差を和らげるため
2. 年間を通じて降り続く激しい雨から、家が浸水するのを防ぐため
3. 森林資源が豊富であり、木材を加工するよりも土を固める方が安価であったため
4. 地震が頻繁に発生するため、揺れに強い柔軟な構造にする必要があったため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> 標高が高いため年間を通じて気温が低く、作物が育ちにくい。	低緯度地域の高地では、標高の高さゆえに気温が上がらず、平地のような熱帯の作物（バナナやカカオなど）を育てるのが困難です。そのため、ジャガイモなどの冷涼な気候に耐えられる作物を栽培したり、家畜を飼育したりする工夫が見られます。
問2	<b>答え 3</b> 中緯度帯の上空を一年中吹く偏西風	日本は北半球の中緯度帯に位置しており、その上空には偏西風が常に西から東へと吹いています。この風が低気圧や高気圧、雲の塊などを西から東へと押し流すため、日本の天気は数日おきに西から順に変化していくという特徴を持ちます。
問3	<b>答え 1</b> 室内の暖房の熱が地中の凍土に伝わり、土台がゆるんで建物が傾くのを防ぐため	北極圏に近い寒冷地では、地下の土が一年中凍りついた「凍土（永久凍土）」の状態にあります。冬に室内で暖房を使用すると、その熱が床から地面に伝わり、地中の氷を溶かして地盤を不安定にしています。地盤がゆるむと建物が自重で傾いたり沈んだりするため、あえて地面から床を離すことで、暖房の熱が直接地面に伝わらないように設計されています。これは東南アジアなどの熱帯で見られる「通風」を目的とした高床住居とは、目的が全く異なる点に注意が必要です。
問4	<b>答え 1</b> 客室の天井や床に、聖地のある方角を示すマークや矢印を表示する。	イスラム教徒にとって礼拝の方角（キブラ）を把握することは非常に重要です。そのため、サウジアラビア国内をはじめ、イスラム教徒が利用する世界各地の宿泊施設や公共施設では、メッカがどの方角にあるかを視覚的に示すための印が設置されるなどの工夫がなされています。
問5	<b>答え 1</b> 偏西風の影響により、暖流の上の湿った暖かい空気が大陸へ運ばれてくるため	ヨーロッパ西岸が同緯度の他の地域（シベリアやカナダなど）と比べて温暖なのは、高緯度まで流れる暖流の北大西洋海流と、その上空を西から東へと吹く偏西風の影響です。暖流によって温められた空気が偏西風によって陸地へ運ばれるため、冬の気温が下がりにくく、気温の年較差が小さくなります。このような気候を西岸海洋性気候と呼びます。
問6	<b>答え 1</b> 標高が高くなると空気が薄くなり、地表からの熱が伝わりにくくなるため、緯度が低くても気温が下がる。	気温は標高が100m上がるごとに約0.6度下がるという性質があります。そのため、メキシコシティ（標高約2,300m）のように低緯度にある都市であっても、標高が高いことで「常春」とも呼ばれる涼しく過ごしやすい気候になります。これは、高度が上がるにつれて大気が熱を保持しにくくなるためです。
問7	<b>答え 1</b> わずかな草や水でも生きられる耐性があり、水資源の乏しい過酷な環境下でも肉や乳を供給できるから。	乾燥帯は年間降水量が蒸発量よりも少なく、農業に利用できる水が極めて限られています。そのため、大量の水を必要とする牛などの飼育は難しく、乏しい植生でも生き抜く力が強い羊やラクダが選ばれてきました。人々はこれらの家畜と共に水場や草地を求めて移動（遊牧）することで、厳しい自然環境の中でも安定してタンパク質や脂質などの栄養を得る工夫をしてきました。
問8	<b>答え 1</b> 強い日差しによる熱が室内に伝わるのを防ぎ、昼夜の激しい気温差を和らげるため	乾燥帯では雲が発生しにくいいため、日中の日差しが非常に強く気温が上がりますが、夜間は放射冷却によって急激に気温が下がります。窓を小さくし、土やレンガで壁を厚くすることで、外の熱気が室内に入るのを防ぐとともに、夜間の冷え込みを緩和する工夫がなされています。また、木材が得にくい環境であることも土を利用する一因となっています。

問1 ある地域の気候統計において、気温が温暖である一方で、夏季の降水量が極端に少なく、その時期にぶどうやオリーブの栽培が行われている場合、その地域の農業的特徴について述べた文として正しいものはどれですか。(2026年 福島公立入試 類似)

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 1. 乾燥に強い樹木作物と、冬の降水を利用した冬小麦の栽培を組み合わせている。 | 2. 一年中平均して降る雨を利用し、酪農と食料作物の栽培を組み合わせている。 | 3. 季節風による夏季の多雨を利用し、二期作による稲作を大規模に行っている。 | 4. 広大な土地に大型機械を導入し、春に種をまく春小麦の栽培を主に行っている。 |
|---|--|--|---|

問2 地中海沿岸などで見られるオリーブの木は、葉が小さく、表面が硬くて厚いという特徴を持っています。このような仕組みを持っている理由として正しい説明はどれですか。(2019年 香川公立入試 類似)

- |                                 |                             |                                |                                 |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 夏の強い日差しや乾燥による、葉からの水分の蒸散を防ぐため | 2. 冬の厳しい寒さや積雪から、木の内部を保護するため | 3. 夏の多雨時期に、葉から大量の水分を吸収しやすくするため | 4. 冬の弱い日射しでも、効率よく光合成を行えるようにするため |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|---------------------------------|

問3 世界の住居はその土地の自然環境に合わせて工夫されています。高温多湿な気候の地域と、地下に永久凍土が広がる地域の両方で見られる「高床住居」の説明として、適切なものはどれですか。(2016年 鳥取公立入試 類似)

- |  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| 1. 高温多湿な地域では通風を確保するために、永久凍土地帯では建物の熱による地盤融解を防ぐために採用されている。 | 2. 高温多湿な地域では害獣の侵入を防ぐために、永久凍土地帯では積雪で出入りがふさがるので防ぐために採用されている。 | 3. 高温多湿な地域では高潮の被害を避けるために、永久凍土地帯では地面からの冷気を遮断するために採用されている。 | 4. 高温多湿な地域では日差しの照り返しを防ぐために、永久凍土地帯では強風による建物の倒壊を防ぐために採用されている。 |
|--|--|--|---|

問4 北緯40度以北のヨーロッパ西海岸付近では、北海道よりも高い緯度に位置しながら、冬の気温が北海道よりも高くなる地点が多くあります。このような気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。(2026年 岡山公立入試 類似)

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1. 低緯度から流れる暖流である北大西洋海流の上を、偏西風が通って温かい空気を運んでくるため。 | 2. 大陸内部から吹き出す乾燥した季節風が、山脈を越える際にフェーン現象を引き起こし気温を上げるため。 | 3. 赤道付近で発生した上昇気流が、中緯度高圧帯としてこの地域を年間を通じて覆うため。 | 4. 寒流の影響により大気が安定し、夏に強い日差しが降り注ぐ一方で冬は海からの熱が放出されるため。 |
|---|---|---|---|

問5 ヨーロッパ西岸の気候が、暖流である北大西洋海流と偏西風の影響を強く受けていることを示す説明として、最も適切なものを選びなさい。(2019年 沖縄公立入試 類似)

- |  |                                      |  |  |
|--|--------------------------------------|--|--|
| 1. 北大西洋海流によって温められた空気を、偏西風が西から陸地へと運んでいる | 2. 偏西風が北極からの冷たい空気を運び、北大西洋海流がそれを暖めている | 3. 夏には季節風が海から湿った空気を運び、冬には乾燥した風が大陸から吹いている | 4. 赤道付近で発生した貿易風が海水を北へ押し上げ、偏西風がその動きを止めている |
|--|--------------------------------------|--|--|

問6 南アフリカのケープタウンやニュージーランドのウェリントンに見られる、温帯の気候帯における人々の生活や環境の特色として、最も適切な説明を選びなさい。(2018年 千葉県公立入試 類似)

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が降るため、高床式の住居が見られる。 | 2. 一年を通して降水量が非常に少なく、乾燥に強い作物やオアシスでの農業が中心となる。 | 3. 四季の変化がはっきりしているため、季節に合わせた農作業が行われ、多くの人々が居住している。 | 4. 冬の寒さが極めて厳しいため、タイガと呼ばれる広大な針葉樹林を利用した林業が盛んである。 |
|---|---|--|--|

問7 低緯度地域に見られる気候のうち、一年を通して気温が高いものの、五月から九月にかけては月間降水量が二百ミリを超える一方で、十一月から三月にかけては雨が極端に少なくなるなど、雨季と乾季が明瞭に分かれる気候を何と呼びますか。(2019年 静岡公立入試 類似)

- |          |           |         |           |
|----------|-----------|---------|-----------|
| 1. サバナ気候 | 2. 熱帯雨林気候 | 3. 砂漠気候 | 4. 地中海性気候 |
|----------|-----------|---------|-----------|

問8 タイなどの温暖で降水量の多い地域で行われている、同じ耕地において一年のうちに二回、同じ種類の作物を栽培する形態を何と呼びますか。(2018年 静岡公立入試 類似)

- |        |        |             |         |
|--------|--------|-------------|---------|
| 1. 二期作 | 2. 二毛作 | 3. プランテーション | 4. 適地適作 |
|--------|--------|-------------|---------|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 乾燥に強い樹木作物と、冬の降水を利用した冬小麦の栽培を組み合わせている。	地中海性気候下の農業は、夏季の乾燥に耐えられるオリーブやぶどうなどの樹木作物と、比較的雨の多い冬季に成長させる小麦の栽培を組み合わせることが一般的です。酪農を中心とするのは西岸海洋性気候で見られる混合農業の特徴であり、季節風を利用するのはアジアなどの温帯湿潤気候や熱帯モンスーン気候の特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 夏の強い日差しや乾燥による、葉からの水分の蒸散を防ぐため	地中海性気候の夏は非常に乾燥するため、植物にとって水分の保持が重要になります。オリーブなどの硬葉樹は、葉の表面を硬く厚くすることで、水分が外へ逃げてしまう（蒸散）のを防ぐ工夫をしています。
問3	<b>答え 1</b> 高温多湿な地域では通風を確保するために、永久凍土地帯では建物の熱による地盤融解を防ぐために採用されている。	高床住居は、地域ごとに異なる目的で発達しました。東南アジアやオセアニアなどの高温多湿な環境では、床を高くすることで風通しを良くし、湿気や暑さを防ぐ役割があります。これに対し、シベリアなどの永久凍土地帯では、室内の熱が地面に伝わると凍土が融けて地盤が不安定になるため、空間を設けて熱を逃がす必要があります。単なる形状の暗記ではなく、それぞれの環境に応じた合理的な理由を理解することが重要です。
問4	<b>答え 1</b> 低緯度から流れる暖流である北大西洋海流の上を、偏西風が通って温かい空気を運んでくるため。	高緯度のわりに冬が温暖な理由は、海流と風の相互作用にあります。大西洋を北上する暖流（北大西洋海流）は、周囲の海水の温度を高く保ちます。その海上の温かい空気を、一年中西から吹き込む偏西風がヨーロッパ大陸へと運び込むため、冬でも冷え込みが抑えられます。この仕組みが、ロンドンやパリなどが高い緯度でありながら過ごしやすい気温を保てる要因です。
問5	<b>答え 1</b> 北大西洋海流によって温められた空気を、偏西風が西から陸地へと運んでいる	ヨーロッパの気候の大きな特徴は、暖流と偏西風の相乗効果にあります。高緯度まで流れる北大西洋海流は周囲の空気を温める役割を果たし、その温まった空気を偏西風が西から東、つまり大西洋からヨーロッパの陸地側へと絶えず運び込むことで、冬の寒さを和らげています。この仕組みがあるため、ロンドンやパリといった都市は、日本の北海道よりも北に位置しながらも、冬の寒さはそれほど厳しくなりません。
問6	<b>答え 3</b> 四季の変化がはっきりしているため、季節に合わせた農作業が行われ、多くの人々が居住している。	温帯は、熱帯のように極端な高温が続くわけではなく、また冷帯（亜寒帯）のように極寒の冬が長く続くわけでもありません。適度な気温の変化と降水量により、農業生産が安定し、世界的に見ても人口が集中しやすいのが大きな特徴です。選択肢にあるスコールは熱帯、オアシスは乾燥帯、タイガは冷帯（亜寒帯）の特色を説明したものです。
問7	<b>答え 1</b> サバナ気候	赤道に近い低緯度地域では一年中気温が高くなりますが、降水量の変化によって気候が区別されます。一年中雨が多い熱帯雨林気候に対し、雨季と乾季がはっきりと分かれ、丈の長い草原に樹木が点在する景観が見られるのがこの気候の特徴です。設問にある数値の変化は、北半球におけるこの気候の典型的な特徴を示しています。
問8	<b>答え 1</b> 二期作	気温が高く、水が豊富に得られる熱帯や亜熱帯の地域では、作物の成長が早いため、同じ土地で年に2回米を収穫することが可能です。同じ作物を2回作るこの形態に対し、米と麦のように異なる種類の作物を同じ土地で1年のうちに栽培する形態は二毛作と呼ばれ、日本の温暖な地域などでも見られます。

# 中学地理プリント (過去問類似)

## 世界の気候と文化

名前

得点

/8

問1 スペインや南アフリカ共和国でオレンジの栽培が盛んに行われている理由として、これらの地域に共通する気候の特徴を説明したものを選んでください。 (2026年 栃木公立入試 類似)

1. 夏季に雨が少なく乾燥し、日照時間が長い。
2. 一年を通じて高温多湿であり、降水量が非常に多い。
3. 冬季の寒さが厳しく、常に土壌が凍結している。
4. 季節風 (モンスーン) の影響で、夏に集中的な降雨がある。

問2 乾燥帯の地域で行われている「遊牧」という生活様式において、人々が移動を繰り返しながら家畜を飼育している理由として、最も適切な説明はどれか。 (2026年 大阪公立入試 類似)

1. 降水量が少なく、家畜の餌となる草や水が一箇所では不足するため
2. 家畜が病気になるのを防ぐために、常に新しい土地の空気に触れさせるため
3. 大規模な牧場を柵で囲い、効率的に肉や乳製品を輸出するために生産を行うため
4. 森林を焼き払って灰を肥料とし、農地を定期的に変えながら栽培を行うため

問3 降水量が極めて少ない乾燥帯などの地域において、特定の居住地を持たずに水や草を求めて家畜とともに移動しながら飼育を行う生活様式を何と呼びますか。 (2026年 大阪公立入試 類似)

1. 遊牧
2. 放牧
3. プランテーション
4. 定住農業

問4 西岸海洋性気候はヨーロッパ以外の地域にも分布している。オーストラリア南東部など、この気候に該当する地域で見られる主な産業上の特徴はどれか。 (2014年 沖縄公立入試 類似)

1. 適度な降水と穏やかな気候条件を活かして、羊や山羊の飼育が行われている。
2. 夏の強い日差しと乾燥した気候を活かして、オリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んである。
3. 雨の多い熱帯の環境を活かして、天然ゴムや油ヤシのプランテーションが展開されている。
4. 広大な砂漠地帯を開発し、地下水を利用したセンターピボット方式による大規模な小麦栽培が行われている。

問5 中央アジアに位置するウズベキスタンのタシケント付近では、最も暑い月の平均気温が約28度、最も寒い月の平均気温が2度前後となります。降水量の推移を見ると、12月から4月にかけては毎月40mmから60mm程度のまとまった降水がありますが、7月や8月はほぼ0mmという極端な乾燥を示します。このような降水パターンを持つ地域の気候的特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

1. 夏季は亜熱帯高圧帯の影響を受けて極端に乾燥し、冬季から春季にかけて一定の降水が見られる。
2. 赤道低圧帯の影響を一年中受けるため、季節を問わず高温多雨となる。
3. 夏季は海からの湿ったモンスーンの影響で降水量が多くなり、冬季に乾燥する。
4. 最寒月の平均気温がマイナス3度を下回り、夏季にのみわずかな降水がある。

問6 北半球のある都市の統計データにおいて、6月から8月にかけての降水量が極端に少なく、気温の上昇とともに乾燥した状態が続く一方、12月から2月にかけての冬季に降水量の増加が見られる気候について、その農業的特徴を説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2019年 兵庫公立入試 類似)

1. 夏季の乾燥に適したオリーブ、ブドウ、レモンなどの果樹栽培や、冬季の降水を利用した小麦の栽培が行われる。
2. 一年を通じて降水量の変化が少なく冷涼なため、都市向けの野菜栽培や乳牛の飼育を行う混合農業が盛んである。
3. 季節風 (モンスーン) の影響で夏季に高温多湿となるため、広大な平野を利用した稲作が中心となっている。
4. 夏季の気温が上がらないため、耐寒性の強いライ麦やジャガイモの栽培、および大規模な豚の飼育が行われる。

問7 オーストラリア大陸の中央部から北西部にかけて広範囲に分布し、降水量が少なく砂漠やステップが広がる気候帯はどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)

1. 乾燥帯
2. 熱帯
3. 温帯
4. 寒帯

問8 ある地域の気候を統計で見ると、すべての月で平均気温が25度を上回っており、降水量も年間を通じて非常に多いという特徴があります。このような気候環境に適応した、床を地面から高く持ち上げた伝統的な住居の名称を選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 高床式住居
2. 合掌造り
3. ゲル (パオ)
4. 氷の家 (イグルー)

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 夏季に雨が少なく乾燥し、日照時間が長い。	オレンジなどの柑橘類やオリーブ、ブドウの栽培には、地中海性気候特有の「乾燥した明るい夏」が適しています。スペインの大部分や、南アフリカ共和国の南西部はこの気候に属しており、強い日差しを利用して果実の糖度を高めることができるため、高品質なオレンジが生産されています。
問2	<b>答え 1</b> 降水量が少なく、家畜の餌となる草や水が一箇所では不足するため	乾燥帯は蒸発量が降水量を上回り、植物が育ちにくい環境にあります。一箇所に留まり続けると家畜が周囲のわずかな草を食べ尽くし、飲み水も枯渇してしまうため、限られた資源を求めて広い範囲を移動し続ける必要があります。なお、特定の場所で柵などを用いて飼育する方法は「放牧」と呼ばれ、森林を焼く手法は「焼畑農業」と呼ばれます。
問3	<b>答え 1</b> 遊牧	乾燥帯では農作物の栽培に必要な水分が不足しているため、人々はラクダや羊、ヤギなどの家畜を連れて移動します。この生活様式は、自然環境に合わせて生活拠点を变えることで家畜の餌となる草を絶やさないようにする、厳しい気候に適応した合理的な方法です。
問4	<b>答え 1</b> 適度な降水と穏やかな気候条件を活かして、羊や山羊の飼育が行われている。	西岸海洋性気候はオーストラリア南東部やニュージーランドなどにも分布しています。これらの地域では、激しい乾燥や極端な寒冷がない安定した気候を活かして、牧草地が維持されやすく、羊や山羊などの家畜の飼育が盛んに行われています。
問5	<b>答え 1</b> 夏季は亜熱帯高圧帯の影響を受けて極端に乾燥し、冬季から春季にかけて一定の降水が見られる。	中央アジアの内陸部は海から遠く離れているため、全体として降水量が少ない乾燥帯（ステップ気候や砂漠気候）に属します。特にタシケント周辺では、夏季に亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）に覆われることで空気が乾燥し、雨がほとんど降らなくなります。一方で、冬季から春季にかけては地中海性気候の影響を受け、低気圧や前線の影響で一定の降水がもたらされるのが特徴です。選択肢にある「モンスーンで夏に多雨」は東アジアなどの特徴であり、「最寒月がマイナス3度未満」は冷帯（亜寒帯）の特徴です。
問6	<b>答え 1</b> 夏季の乾燥に適したオリーブ、ブドウ、レモンなどの果樹栽培や、冬季の降水を利用した小麦の栽培が行われる。	問題文に示された「夏季乾燥・冬季湿潤」という特徴は地中海性気候の典型的な雨温図のパターンを指しています。この気候下では、夏に乾燥に強いオリーブや柑橘類などの果樹を育て、比較的雨の多い冬に小麦を栽培する地中海式農業が発達しました。他の選択肢は、西岸海洋性気候（混合農業）や温暖湿潤気候（稲作）の特徴を述べたものです。
問7	<b>答え 1</b> 乾燥帯	オーストラリア大陸は、沿岸部の一部を除き、内陸部の大部分が雨の少ない気候となっています。この地域では蒸発量が降水量を上回り、砂漠や短い草が生えるステップが広がっているのが特徴です。熱帯は北部、温帯は南東部や南西部の沿岸に見られます。
問8	<b>答え 1</b> 高床式住居	熱帯の熱帯雨林気候など、高温多湿な環境で見られる建築様式です。床を高くすることで、通気性を高めるだけでなく、激しい雨による浸水被害を避けたり、地面からの害虫や野生動物の侵入を防いだりする役割も果たしています。

問1 イスラム教を信仰する人々が、生活の中で豚肉を食べることや飲酒を避ける理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 佐賀公立入試 類似)

1. 聖典であるコーランにおいて、それらが「不浄なもの」として禁じられているから。
2. 砂漠地帯では豚の飼育が難しく、宗教的に価値が低い動物とみなされたから。
3. 神の使いとされる動物を保護することで、自然との調和を図るという教えがあるから。
4. 厳しい修行の一環として、空腹や渇きに耐えることで精神を鍛えることが目的だから。

問2 ヨーロッパのアルプス山脈より南側に位置する地域では、夏の乾燥と冬の降水という気候の特色に合わせ、夏には乾燥に強いオリーブやオレンジ、冬には小麦などを栽培する農業が盛んです。この農業形態の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2015年 鳥取公立入試 類似)

1. 地中海式農業
2. 混合農業
3. 酪農
4. プランテーション農業

問3 地中海沿岸に位置するフランスのニースなどに見られる地中海性気候の地域では、6月から8月にかけての降水量が他の月と比較して極端に少なくなります。このような地域における降水の特色として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 香川公立入試 類似)

1. 夏は乾燥して雨が少なく、冬に比較的雨が多くなる。
2. 夏は季節風の影響で雨が多くなり、冬は乾燥して雨が少ない。
3. 一年を通じて降水量が多く、月ごとの降水量の変化がほとんどない。
4. 冬に乾燥して雨が少なくなるが、夏には台風の影響で雨が極端に多くなる。

問4 中央アジアなどの乾燥した草原地帯で見られる、定住せずに水や牧草を求めて季節ごとに移動しながら、羊や馬などの家畜を飼育する牧畜の形態を何と称しますか。 (2015年 岡山公立入試 類似)

1. 遊牧
2. 放牧
3. 移牧
4. 酪農

問5 面積が非常に広大で、気候帯の割合において冷帯(亜寒帯)が約43%、乾燥帯が約17%、温帯が約13%を占めるなど、多様な気候環境を持つ大陸の名称として適切なものを選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

1. ユーラシア大陸
2. アフリカ大陸
3. オーストラリア大陸
4. 南アメリカ大陸

問6 世界の諸地域において、歴史的に他国によって支配された地域のことを「植民地」と呼びます。かつてイギリスの植民地であった地域で見られる、言語や文化的な特徴についての説明として正しいものはどれですか。 (2026年 福島公立入試 類似)

1. 支配の影響により、現在も英語を公用語として使用している地域が多い
2. 支配国との対立を避けるため、独自の伝統言語のみを公用語としている
3. 支配が終わった直後に、旗のデザインから他国の要素をすべて排除した
4. キリスト教以外の宗教を信仰することが法律で厳しく禁止されている

問7 日本、ドイツ、エジプト、オーストラリアの4か国における牛・豚・鶏などの家畜飼育頭数を比較した統計において、エジプトは牛や鶏の飼育は見られるものの、豚の飼育頭数が他の3か国に比べて極端に少なく、ほぼゼロに近いという特徴があります。このような統計上の傾向が見られる理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 奈良公立入試 類似)

1. イスラム教の戒律によって、豚肉を食べることが禁じられているため
2. ヒンドゥー教の教えに基づき、特定の動物を殺生することが禁じられているため
3. 砂漠が広がる乾燥帯の気候では、豚の飼育が技術的に困難であるため
4. 政府が食料自給率向上のため、豚よりも羊やラクダの飼育を優先的に推奨しているため

問8 ケープタウン(南アフリカ)、テヘラン(イラン)、ホーチミン(ベトナム)、ウェリントン(ニュージーランド)、オタワ(カナダ)の5つの都市のうち、四季の変化がはっきりした「温帯」に共通して属している都市の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

1. ケープタウンとホーチミン
2. テヘランとオタワ
3. ケープタウンとウェリントン
4. ホーチミンとウェリントン

問9 ノルウェーなどの高緯度地域で見られる、氷河によって侵食されたU字状の谷に海水が深く入り込むことで形成された、複雑な海岸地形を何と呼びますか。 (2019年 山口公立入試 類似)

1. フィヨルド
2. リアス海岸
3. カルデラ
4. シラス台地

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 聖典であるコーランにおいて、それらが「不浄なもの」として禁じられているから。	イスラム教徒の生活は、神の言葉とされる「コーラン」の定めに従います。コーランの中で豚肉やアルコールは健康や精神に害を及ぼす不浄なもの（ハラーム）と指定されているため、これらを口にしないことが信仰の証とされています。
問2	<b>答え 1</b> 地中海式農業	温帯のうち、地中海沿岸などで見られる「夏に乾燥し、冬に雨が降る」という地中海性気候に対応した農業です。夏は水分を失いにくい厚い葉を持つオリーブやブドウ、オレンジなどの樹木作物を栽培し、比較的雨の多い冬に小麦を栽培するという、気候のサイクルに合わせた合理的な生産体系がとられています。
問3	<b>答え 1</b> 夏は乾燥して雨が少なく、冬に比較的雨が多くなる。	地中海性気候は温帯に属しますが、夏に雨が多くなる日本の気候とは対照的な降水パターンを持ちます。夏は亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の影響を受けるため、乾燥して雨が非常に少なくなります。一方で、冬にはこの高圧帯が南下し、偏西風や前線の影響を受けるようになるため、比較的雨が降るようになります。
問4	<b>答え 1</b> 遊牧	乾燥帯の中でも降水量が極めて少ない地域では、一箇所に留まると家畜の餌となる牧草がすぐに尽きてしまいます。そのため、水場や新しい草地を求めて広範囲を移動する生活様式が発達しました。似た用語に「放牧」がありますが、これは家畜を野外で飼育すること全般を指し、必ずしも居住地ごとの移動を伴うわけではありません。
問5	<b>答え 1</b> ユーラシア大陸	世界最大の大陸であるユーラシア大陸は、高緯度に位置する広大なシベリアなどの地域を含むため、冷帯（亜寒帯）が全体の4割以上という高い割合を占めています。同時に、中緯度から低緯度にかけて温帯や熱帯も分布しており、世界で最も多様な気候帯が見られる大陸です。
問6	<b>答え 1</b> 支配の影響により、現在も英語を公用語として使用している地域が多い	イギリスはかつて世界各地に広大な植民地を展開しました。その結果、オーストラリアや北米、アフリカの一部など、かつて植民地であった多くの地域で英語が公用語として普及しました。また、オーストラリアの国旗やハワイの州旗のように、歴史的なつながりを示す意匠としてイギリスの国旗（ユニオンジャック）がデザインの一部に残されている事例も存在します。
問7	<b>答え 1</b> イスラム教の戒律によって、豚肉を食べることが禁じられているため	エジプトは国民の多くがイスラム教を信仰しています。イスラム教では聖典コーラン（クルアーン）の定めにより、豚は「不浄なもの」とされ、その肉を食べることが禁じられています。そのため、イスラム教徒が多い国々では食肉としての需要がなく、統計上も豚の飼育頭数が他の家畜に比べて著しく少なくなるのが地理的な大きな特徴です。選択肢にあるヒンドゥー教で神聖視され食用が避けられるのは、主に牛です。
問8	<b>答え 3</b> ケープタウンとウェリントン	温帯に属するケープタウンとウェリントンは、それぞれアフリカ大陸南端とニュージーランドに位置し、ともに人間が住みやすい気候条件を備えています。一方、ホーチミンは低緯度に位置し一年中気温が高い熱帯、テヘランは降水量が少ない乾燥帯、オタワは冬の寒さが厳しい冷帯（亜寒帯）に属しており、温帯の組み合わせには該当しません。
問9	<b>答え 1</b> フィヨルド	氷河はその巨大な重量によって地表を削り取り、断面がU字型の深い谷を作ります。地球の温暖化などによって海面が上昇したり、土地が沈んだりしてこの谷に海水が進入することで、両側が絶壁に囲まれた奥行きのある入り江が作られます。この地形は北欧のほか、ニュージーランドやチリなどでも見られます。